



Q 農産物への価格保証は

桜井 博義 議員

A 村単独の助成は難しい

Q1 ①農業の現状をどう認識し、今後あるべきすがたは。

②農業予算のうち、価格保証対策に使われる金額、比率は。
③農業生産に意欲を持てるように、価格保証の充実は。

A1 ①海外農産物との競争や地勢上自然災害が多発するという国土条件にあります。農業は、食料の供給、環境保全などに重要な役割を果たします。農水省が示した基本計画の視點に立ち、改革を推進します。

②「青果物等価格安定事業」により7品目で42万2,667円交付され、比率は0.007%となっています。
③村の財政状況では単独での助成は難しいので、引き続き「青果物安定対策事業」を実施します。

②野菜や米作りの体験をとおして、食の大切さや、正しい食習慣を理解させるほか、児童生徒による希望献立に取り組んでいます。

指定管理者制度の公共性は

Q3 ①労働者賃金の確保は。
②公共性公平性を保つために、どのような基準、考えでサービスを提供するのか。
③管理者に情報の漏えいがあった場合の罰則は。

A3 ①審査の中で適正に判断します。

②法令に基づき、管理基準や業務の範囲等明確に定め、公共性公平性は確保されます。
③個人情報保護法、村の保護条例において、義務が課せられ、不正、不当の場合は罰則の対象となります。



▲小岩井あおぞら市は大好評

学校給食に地元の農産物を

Q2 ①学校給食に対して地元農産物の調達状況はどのようになっているのか。
②学習指導で、子どもたちに、食べる教育を学習指導でどのように教えているのか。

A2 ①米、牛乳、りんごはすべて村内産です。小麦は県内産30%、野菜は村内産1%以下となっています。